第六講・文学的文章④

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

（ぼくと哲（てつ）はしだいに仲良くなっていったが、哲はおじさんの家に引っこすことになった。）

「①お別れ会の実行委員を、決めなくちゃ」

宮本（みやもと）さんが、立ち上がった。

「そうだな、実行委員をやってくれる人、手をあげて」

先生の言葉に、ぼくは気がつくと手をあげていた。

「村松、おまえ、やってくれるのか」

ぼくが、うなずくと、哲が、

「村松はいいよ、先生」

と、大きな声でいった。

ぼくは、哲を見た。

「村松は、入試があるじゃんかぁ、先生。大事な時だぜ。だめだなぁ、先生、教育的配慮（はいりょ）がたりないよ」

「あっ、そうか」

先生が、頭をかいた。

「いえ、先生、ぼく、やります」

ぼくは、自分の意見を通した。

給食の時間、哲のまわりを女の子が、とりかこんだ。

それを見て、先生が、

「すげえ、哲、アイドルみたい」

と、ひやかすと、

「おれ、アイドルだもん、先生。知らなかったの、どっから見てもジャニーズ系（けい）じゃん」

哲が、サラサラのかみの毛を片手（かたて）でかき上げるしぐさをした。

「ジャニーズ系って、なんだ？」

先生が、けげんそうな顔をして、みんなにきいた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「先生、おくれてるぅ。今、一番人気あるアイドルグループの事務所の名前で、そこからデビューしたアイドルを、ジャニーズ系っていうんだよ」

青木が、説明すると、先生は腰をちょっととひくくするふりをして、

「失礼しました」

といったので、クラスにわらいが起きた。

「それぐらい知ってないと、子どもの心はつかめませーん」

哲が、いうと先生は、

「反省してます」

と、頭をかいた。

②いつものクラスのふんいきになった。

一瞬、ぼくは哲の転校を、忘れそうになった。

③授業のあと、先生が職員室にぼくを呼んだ。

先生の机の上に小さなカレンダーが置いてあって、二月の二十日、二十二日、二十五日に赤丸がしてあった。

「もうすぐだな、入試」

先生が、カレンダーを見ていった。

ぼくは、先生のやさしさに胸がいっぱいになった。

「だいじょうぶか、実行委員。先生はうれしかったけどさ。家で心配するんじゃないか」

「だいじょうぶです」

「そうか。哲、よろこんでたよ」

「だって……」

④ぼくは、もう一度カレンダーを見た。

「だって、哲は、ぼくの友だちなんです」

先生が、だまって、うなずいた。

（上条さなえ『友だちじゃないか』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「お別れ会」とありますが、だれのお別れ会ですか。

問二　「ぼく」がお別れ会の実行委員をするかどうかについての(1)先生、(2)哲、(3)「ぼく」の考えとして最もよいものを次のうちからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　友だちなのだから、ぜひともやるべきだ。

イ　入試の前で大変だろうが、やってくれたらうれしい。

ウ　気持ちはうれしいが、大事な時だからやらないほうがよい。

エ　やりたい人はたくさんいるので、無理にやらなくてよい。

オ　仲がよかったわけでもないのに、出しゃばらないでほしい。

(1)　(2)　(3)

問三　――線②「いつものクラスのふんいきになった」とありますが、(1)「いつものクラスのふんいき」、(2)「いつものクラスのふんいき」になる前のふんいきとして最もよいものを次のうちからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　きびしく責(せ)め合うふんいき

イ　明るく笑い合うふんいき

ウ　期待にうかれるふんいき

エ　別れを悲しむふんいき

(1)　(2)

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　――線③「授業のあと、先生が職員室にぼくを呼んだ」とありますが、何のためですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□をひかえた「ぼく」が□□□になったことを、□□□□□□□□□といういうことをかくにんするため。

問五　――線④「ぼくは、もう一度カレンダーを見た」とありますが、何を見たと考えられますか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　「ぼく」の入試までの日数
イ　お別れ会までの予定
ウ　先生の今後の予定
エ　哲がいなくなってしまう日

□

問六　この文章から、(1)先生、(2)哲、(3)「ぼく」のどんな性格が読み取れますか。その説明として最もよいものを次のうちからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア　ふざけてばかりに見えるが、人を気づかうやさしさがある。
イ　だれに対してもやさしく、クラスの人気者である。
ウ　しっかり者で、先生にもクラスのみんなにもたよられている。
エ　子どもの関心事にはうといが、温かい心をもっている。
オ　まじめで、思いこんだらがんこにゆずらないところがある。

(1) □
(2) □
(3) □

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

給食の終わり近くになって、哲（てつ）がビニールぶくろを持って、立ち上がった。

ぼくは、まったく手をつけていないパンを、ナプキンで包んだ。

お腹（なか）は、すいていたけど、パンを食べなかった。

①今日こそは、哲にパンをあげたいとおもったのだ。

「さて、みなさん、最後の*カンパです」

哲が、歩きはじめた。

宮本さんが、青木が、哲のビニールぶくろにパンを入れた。

ぼくは、なんども深呼吸（しんこきゅう）をした。

哲が、ぼくのそばへ歩いてきた。

「これ……」

ぼくは、ナプキンで包んだパンをさし出した。

哲が、ぼくと、パンを交互（こうご）に見た。

哲は、ちょっと、悲しそうな顔をした。

そして、

「いらねぇよ」

と、いった。

「えっ？」

ぼくには、哲の言葉の意味がわからなかった。

「いらねぇよ、②おれ、友だちからはもらわねぇんだ。だって、おれたち、友だちじゃないか」

ぼくは、哲に失礼なことをしたとおもった。

「ごめん」

「対等で、いたいんだ」

哲は、小さな声でいった。

ぼくは、パンの包みを机（つくえ）の上にもどした。

哲を友だちだといいながら、ぼくは哲をあわれんでいた。

ぼくたちは、決して、対等ではなかったんだ。

先生が前にいった、貧富（ひんぷ）の差ということをおもい出していた。

土曜日のお別れ会に行こうか、どうしようか、ぼ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

くはまよっていた。

③ぼくという人間に、ぼく自身が失望していた。

「類(るい)、電話よ、女の子から」

ママの声に、トゲがあった。

受話器の向こうから、宮本さんの声がきこえた。

「ごめんなさい。お別れ会に、村松君こないから電話したの。あのね、私(わたし)も青木君も、昨日(きのう)、ショックだった。④私や青木君なんて、哲ちゃんにとって、友だちでもなんでもなかったんだって。村松君だけが、哲ちゃんにとって、友だちだったって、昨日、知ったから」

「ぼくも、友だちじゃないよ」

「そんなことないわ。私や青木君たちは哲ちゃんがかわいそうだって、ただ同情してたの。村松君は、ちがう」

ぼくは、時計を見た。

まだ、お別れ会が始まって十五分しかたっていない。

「行くよ、ぼく」

受話器を置くと、ママがいった。

「友だちは、これからいっぱい、できるわ」って。

⑤ぼくは、ママの顔を見ずに玄関(げんかん)に行った。

（上条(かみじょう)さなえ『友だちじゃないか』）

＊カンパ＝うちに働き手がいない哲は、給食のパンの残りをみんなからもらっていた。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「今日こそは、哲にパンをあげたいとおもったのだ」とありますが、「今日こそは」と思ったのはなぜですか。

問二　初めてのカンパに、「ぼく」がきんちょうしている様子がわかる一文を文中から書きぬきなさい。

問三　――線②「おれ、友だちからはもらわねぇんだ」について、次の⑴・⑵に答えなさい。

⑴　哲は、「友だち」とはどんな関係でありたいと考えていますか。次の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

□な関係。

⑵　哲は、どんな人からならパンをもらうのですか。次の文の□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

哲にただ□しているだけの人。

問四　何でもないことのようにパンをもらう哲ですが、本当はどんな気持ちだったのですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　うれしい　**イ**　はらだたしい

ウ　つらい　**エ**　ほこらしい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　――線③「ぼくという人間に、ぼく自身が失望していた」とありますが、「ぼく」が失望していたのは、自分のどんなことに気づいたからですか。それがわかる一文を文中からさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

□□□□～□□□□

問六　――線④「私や青木君なんて、哲ちゃんにとって、友だちでもなんでもなかった」とありますが、宮本さんはそれをどんなことから知りましたか。次の文の□にあてはまることばを書きなさい。

「友だちからはもらわない」と言う哲が、宮本さんや青木君のパンは□□□□こと

問七　――線⑤「ぼくは、ママの顔を見ずに玄関に行った」とありますが、それはなぜですか。最もよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　へたな言いわけをして、ママにうそをついて出かけることが知られてしまうとこまるから。

イ　友だちを大切に思う気持ちがわからないママと話などしたくないし、早くお別れ会に行きたかったから。

ウ　「ぼく」のすることにいちいち口出しをしてくるママに、うんざりしていたから。

エ　「ぼく」を心配してくれるママの言うことにしたがわないのが、心苦しかったから。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　文学的文章④

一題目

問一　哲
問二　(1) イ　(2) ウ　(3) ア
問三　(1) イ　(2) エ
問四　入試・実行委員・家で心配するんじゃないか
問五　エ
問六　(1) エ　(2) ア　(3) オ

二題目

問一　(例)哲にパンをあげることができるのは、今日が最後だから。
問二　ぼくは、なんども深呼吸をした。
問三　(1) 対等　(2) 同情
問四　ウ
問五　哲を友だ　～　でいた。
問六　(例)もらった
問七　イ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。